

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2022年度上期調査)

定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は、▲5.4と3期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。

次期見込みは▲0.8とマイナス幅が更に縮小。

【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は、▲17.4と3期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。

次期見込みは▲8.7とマイナス幅が更に縮小。

【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は、20.6とやや上昇し、5期連続でプラス。

次期見込みは21.2と横ばい。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は、19.1と上昇し、6期連続でプラス。

次期見込みは17.8とやや低下。

特別調査

ゼロゼロ融資終了後のコロナ禍における中小企業者の資金ニーズについて調査を実施

【ゼロゼロ融資終了後のコロナ禍における中小企業者の資金ニーズについて】

○現在の中小企業者の資金ニーズの性質別では、「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が最多(76.5%)。

○ゼロゼロ融資終了後の信用保証付き融資の申込みが減少傾向にあることの要因としては、「ゼロゼロ融資等により資金繰りに問題がないから」が最多(73.0%)。

○信用保証付き融資について、コロナ禍前(2018年頃)との融資スタンスの比較では、「積極的」と「やや積極的」を合わせて30.4%となっている。

○「伴走支援型特別保証制度」の利用を推進している金融機関は87.4%。

○顧客への支援等に関するサービスにおいて、オンライン化を実施している金融機関は39.5%。

<お問合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 保険分析グループ (担当: 城所、今泉、樺木)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033

<調査の要領>

調査時点	2022年4月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	271の金融機関(都市銀行5、地方銀行62、第二地方銀行37、信用金庫132、信用組合35) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	253の金融機関(都市銀行5、地方銀行56、第二地方銀行31、信用金庫129、信用組合32)
回答率	93.4%

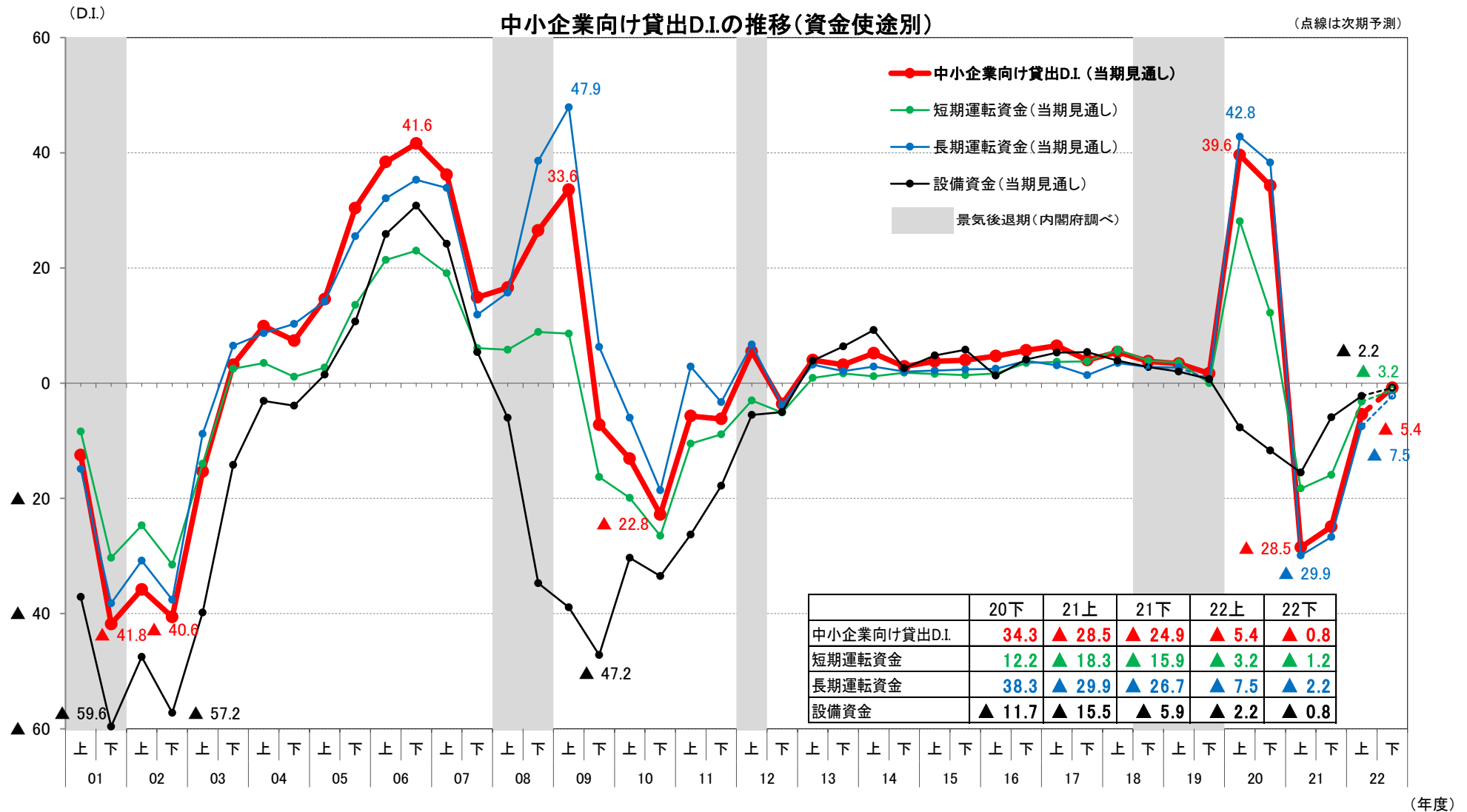
(注) D.I. = (「増加」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや増加」と回答した金融機関の割合) - (「減少」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや減少」と回答した金融機関の割合)。
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

- 東北・北海道【30/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 - 関東甲信越【84/86】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 - 東海・北陸【46/50】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 - 近畿【33/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 - 中国【19/20】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 - 四国【15/15】: 香川、徳島、高知、愛媛
 - 九州・沖縄【26/29】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、3期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。次期は更に縮小する見込み。
- ◆ 資金用途別にみると、長期運転資金及び短期運転資金はマイナス幅が大幅に縮小、設備資金はマイナス幅がやや縮小。

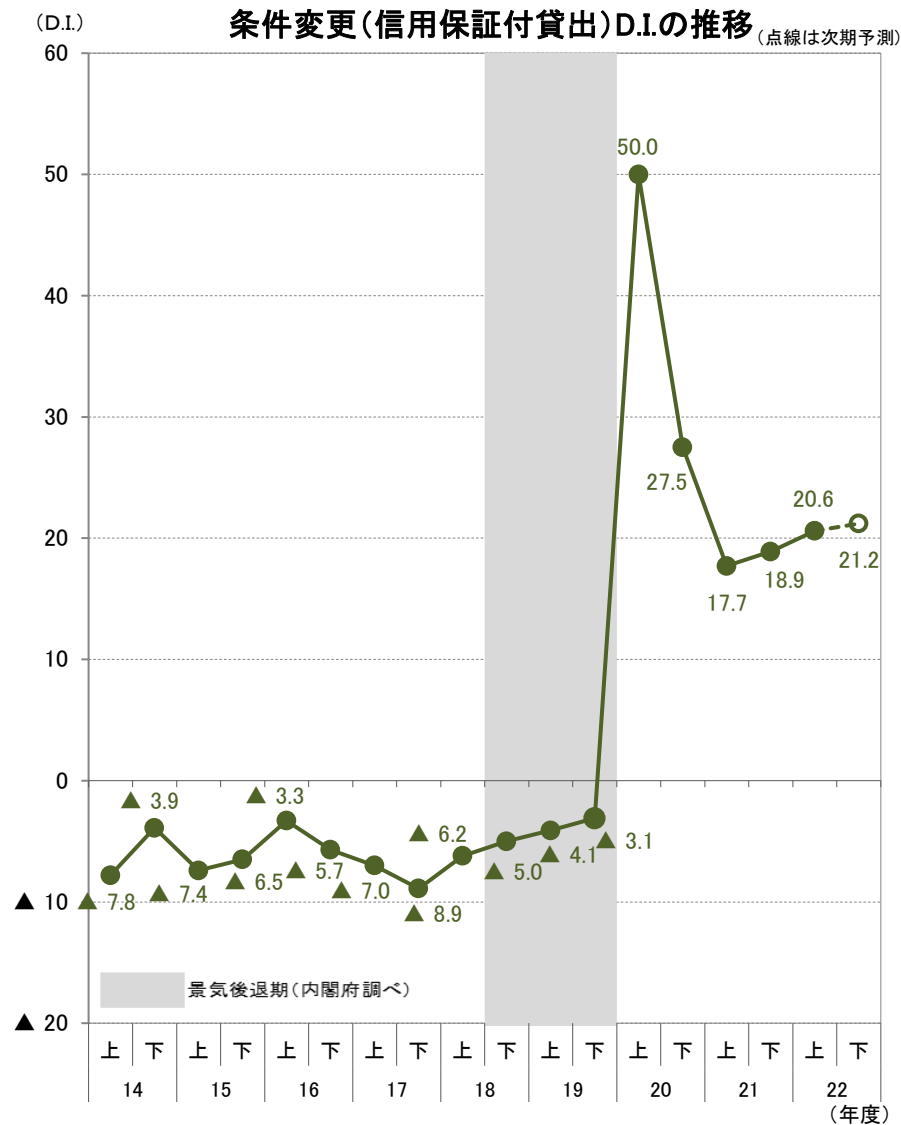
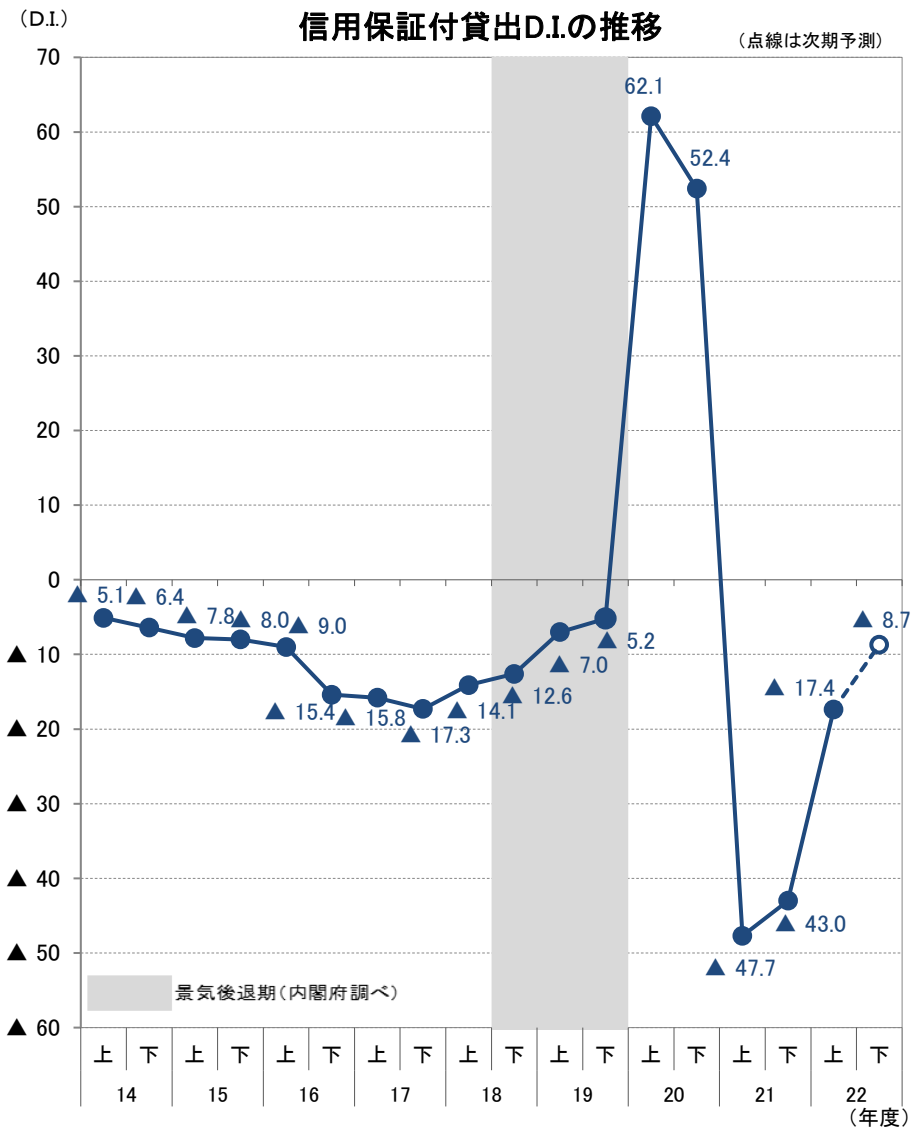


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

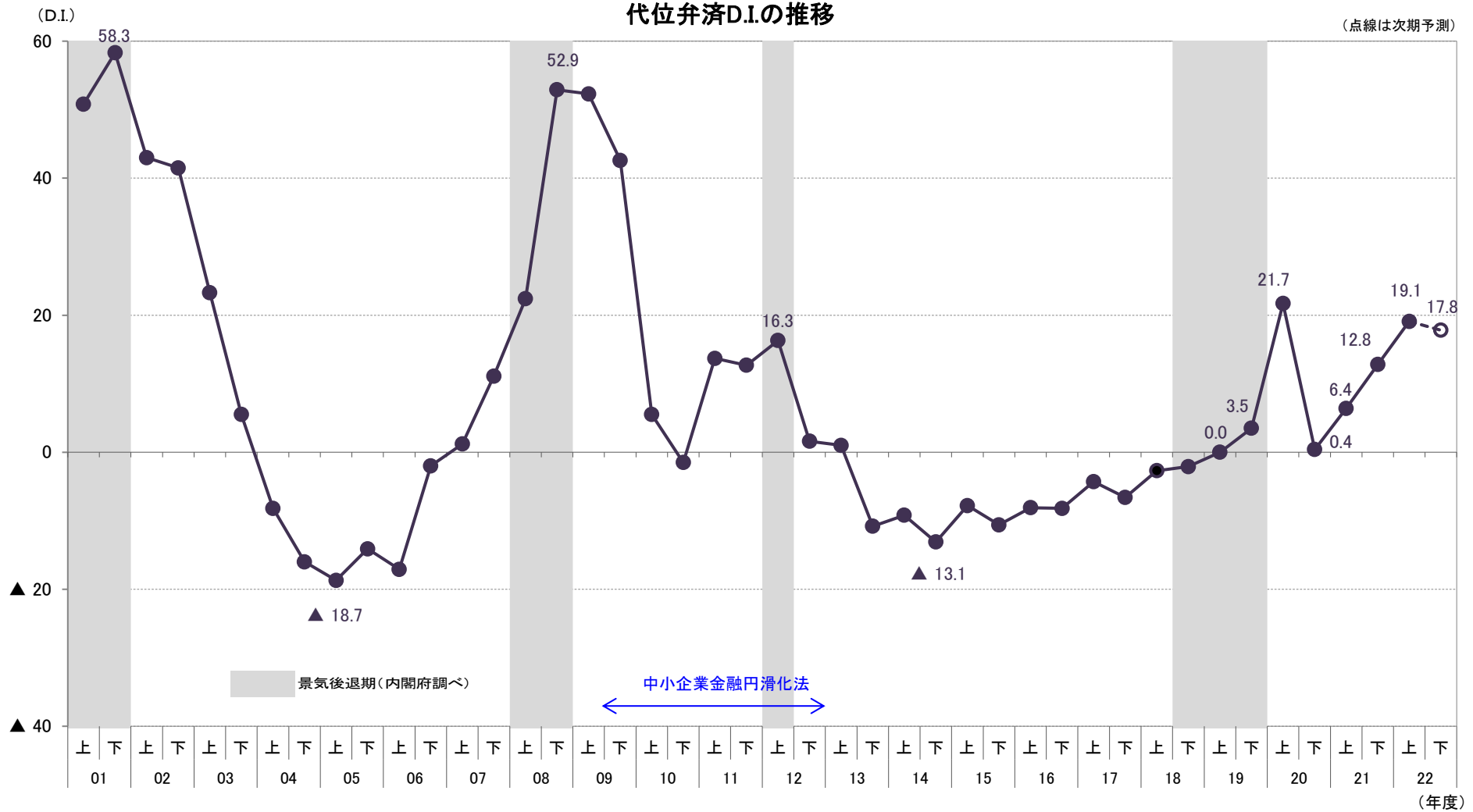
2. 信用保証付貸出の動向について

- ◆信用保証付貸出D.I.は、3期連続でマイナスとなったものの、マイナス幅は大幅に縮小。次期は更に縮小する見込み。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、やや上昇し、5期連続でプラスとなった。次期は横ばいの見込み。



3. 代位弁済の動向について

◆代位弁済D.I.は、上昇し、6期連続でプラスとなった。次期はやや低下する見込み。



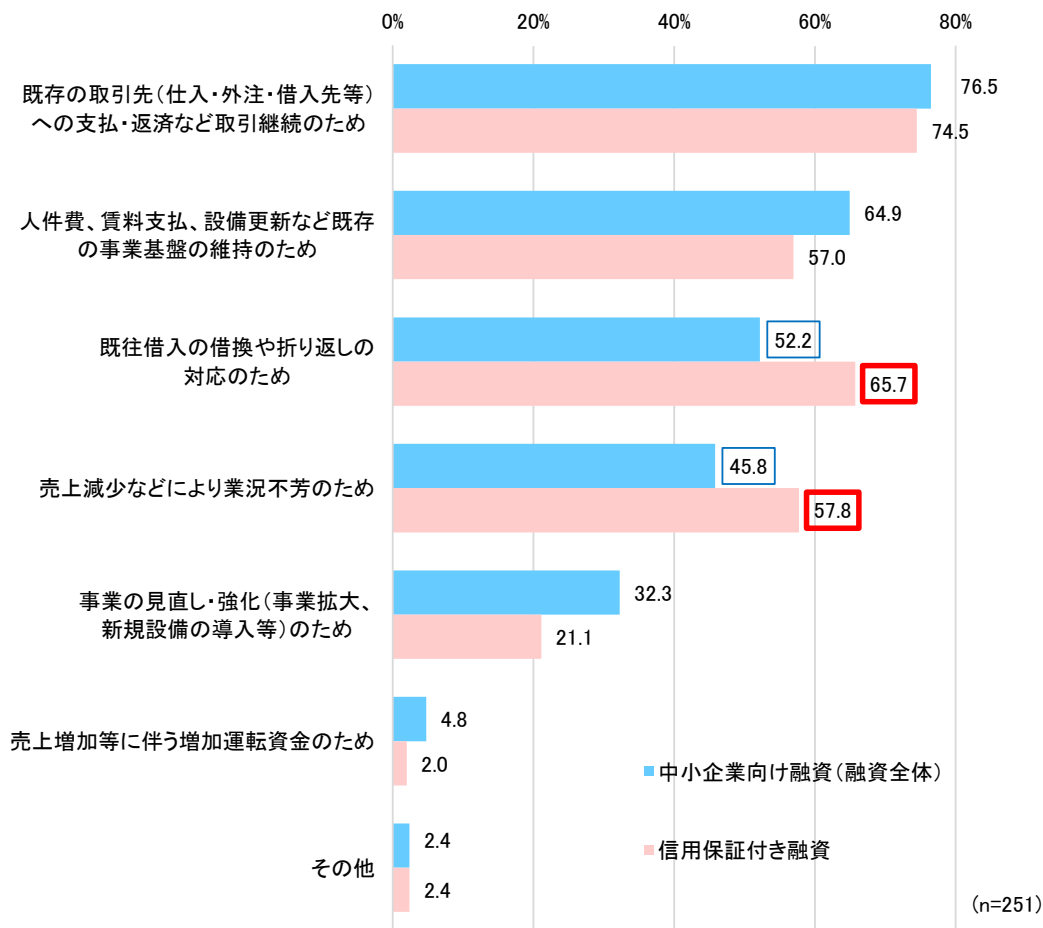
(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

特別調査 ゼロゼロ融資終了後のコロナ禍における中小企業者の資金ニーズについて

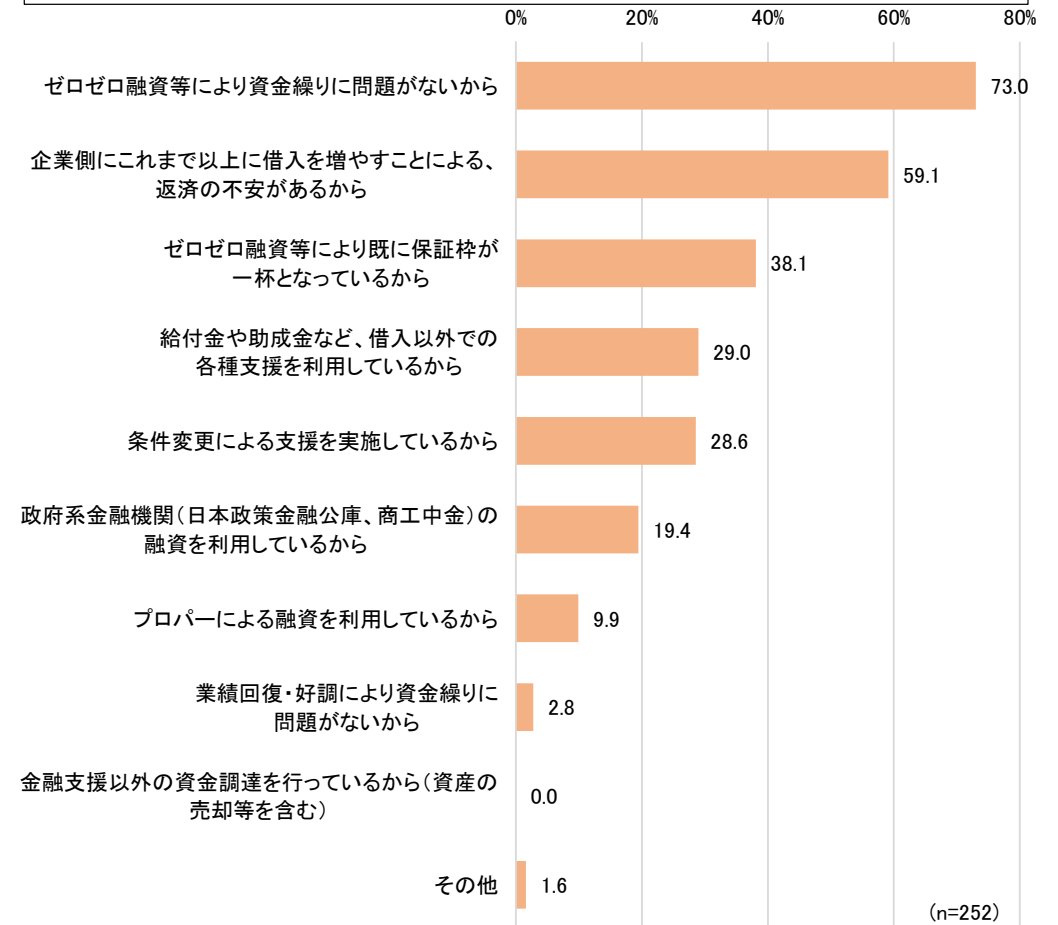
1. 現在の資金ニーズの性質について

- ・現在の中小企業者の資金ニーズの性質別では、「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が最多(76.5%)。
- ・「既往借入の借換や折り返しの対応のため」、「売上減少などにより業況不芳のため」は、信用保証付き融資の割合が高い。



2. ゼロゼロ融資終了後の信用保証付き融資(申込)の減少要因

- ・ゼロゼロ融資終了後の信用保証付き融資の申込みが減少傾向にあることの要因としては、「ゼロゼロ融資等により資金繰りに問題がないから」が最多(73.0%)。
- 次いで「企業側にこれまで以上に借入を増やすことによる、返済の不安があるから」、「ゼロゼロ融資等により既に保証枠が一杯となっているから」の順になっている。



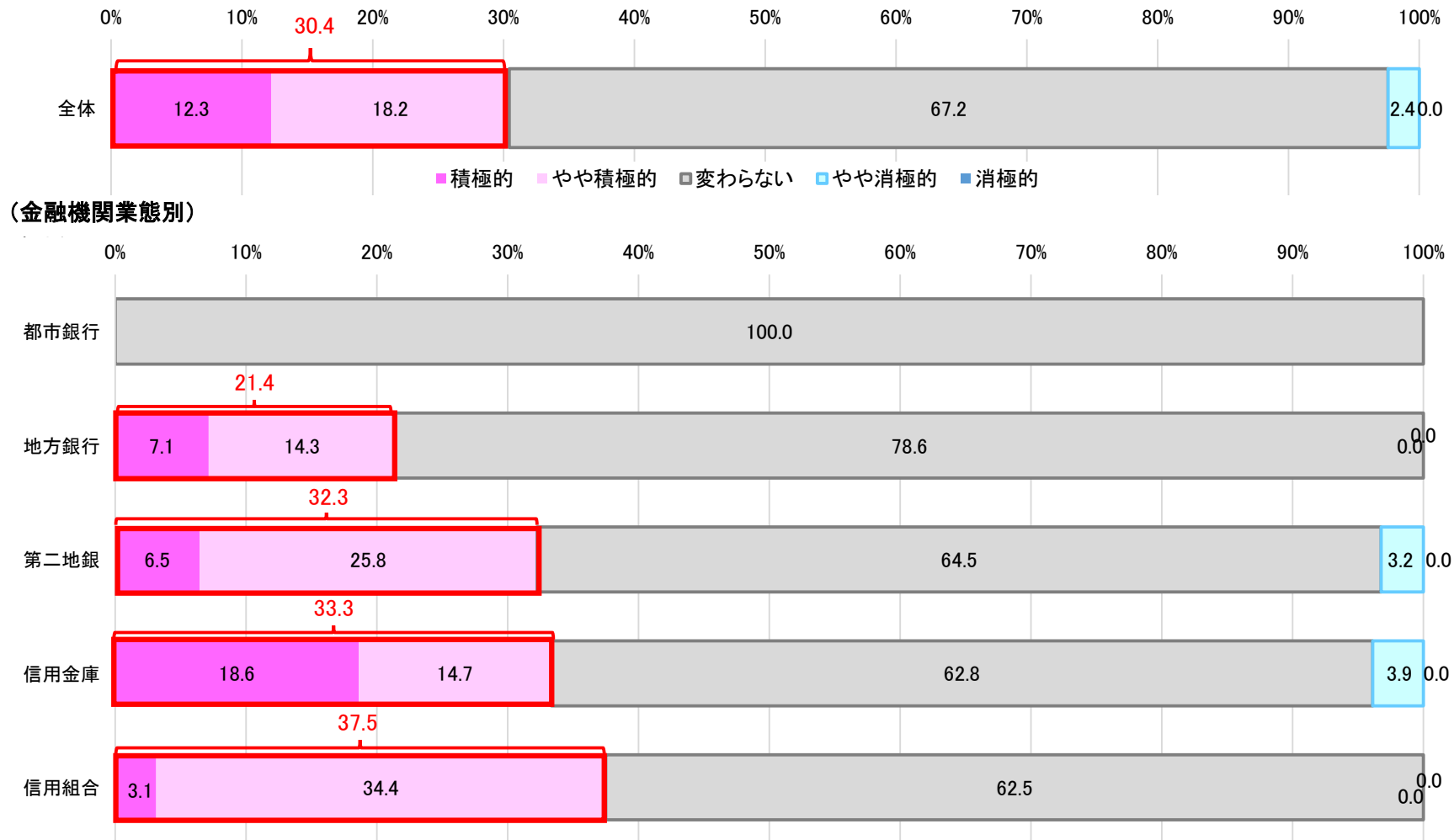
(注1) ゼロゼロ融資とは2020年5月に創設された民間金融機関における実質無利子・無担保融資のことであり、国が保証料補助・利子補給を行う融資制度を指す。

(注2) 1,2は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資終了後のコロナ禍における中小企業者の資金ニーズについて

3. 現在の信用保証付き融資のスタンス(コロナ禍前(2018年頃)と比較)

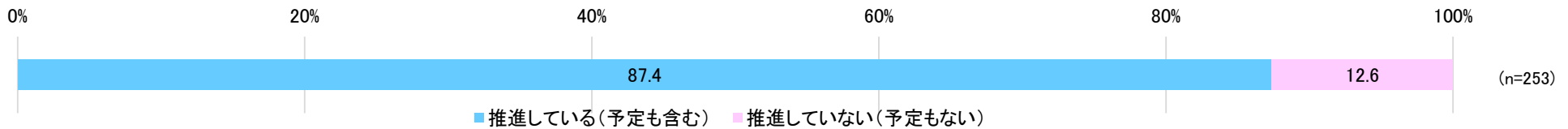
- ・信用保証付き融資について、コロナ禍前(2018年頃)との融資スタンスの比較では、「積極的」と「やや積極的」を合わせて30.4%となっている。
- ・金融機関業態別では、第二地銀、信用金庫、信用組合は「積極的」、「やや積極的」を合わせた割合が全体より高くなっている。



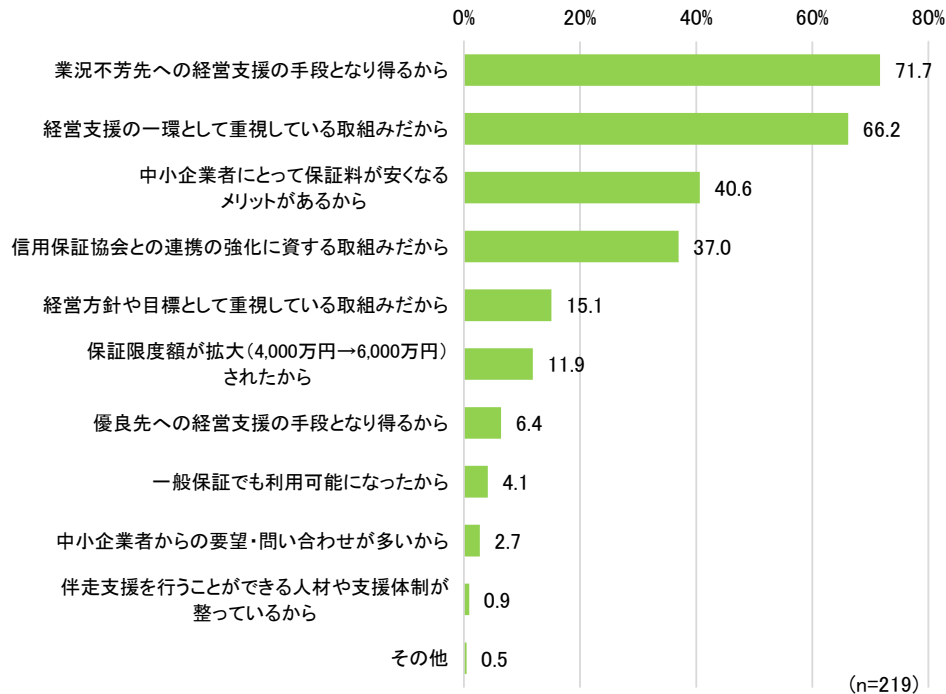
4. 「伴走支援型特別保証制度」の利用状況等

・「伴走支援型特別保証制度」の利用を推進している金融機関は87.4%。
 ・「伴走支援型特別保証制度」の利用を推進している理由では、「業況不芳先への経営支援の手段となり得るから」が最多。次いで「経営支援の一環として重視している取組みだから」、「中小企業者にとって保証料が安くなるメリットがあるから」の順になっている。
 ・「伴走支援型特別保証制度」の利用にあたっての課題では、「経営行動計画書」の作成を負担と捉える中小企業が多いこと」が最多。次いで「顧客への四半期に1回の業況確認が負担となること」、「ゼロゼロ融資等の利用により、既に保証枠に達している中小企業が多いこと」の順になっている。

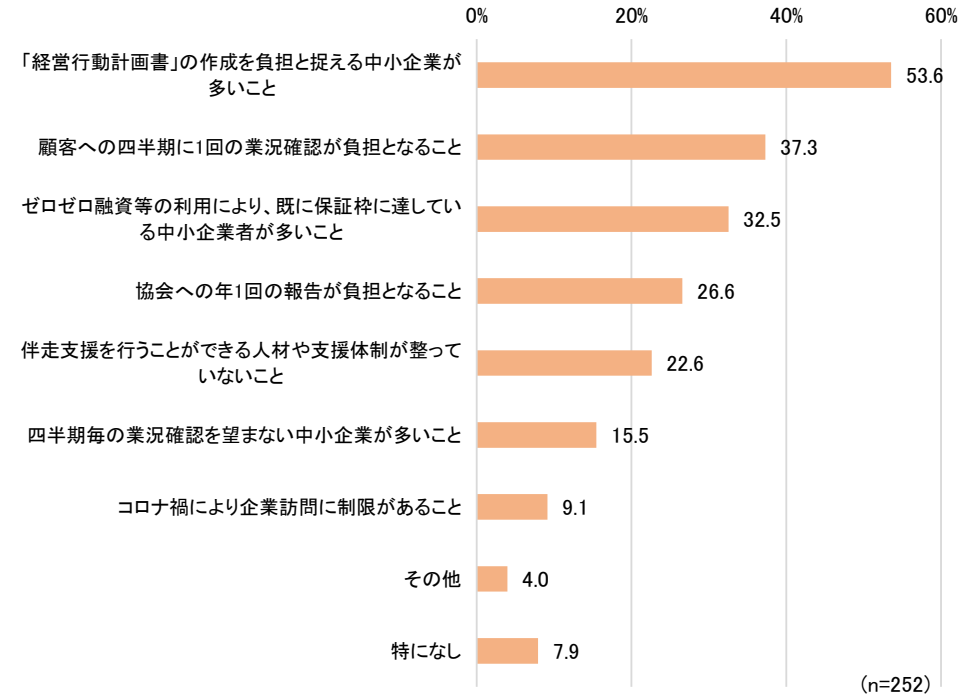
(1) 「伴走支援型特別保証制度」の利用推進について



(2) 「伴走支援型特別保証制度」の利用を推進している理由



(3) 「伴走支援型特別保証制度」の利用にあたっての課題



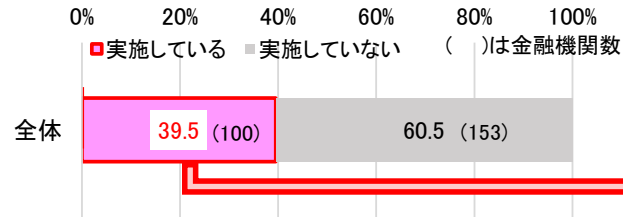
(注) (2)、(3)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 ゼロゼロ融資終了後のコロナ禍における中小企業者の資金ニーズについて

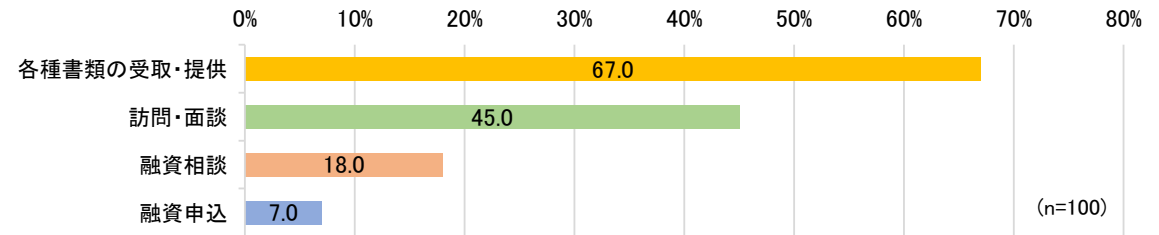
5. 顧客への支援等に関するオンライン化の実施状況

- ・顧客への支援等に関するサービスにおいて、オンライン化を実施している金融機関は39.5%。オンライン化を実施しているサービスでは、「各種書類の受取・提供」が最多。次いで、「訪問・面談」の順になっている。
- ・金融機関業態別では、オンライン化を実施している割合は、都市銀行が最も高く、以下、地方銀行、第二地銀の順になっている。

(1) オンライン化を実施している金融機関

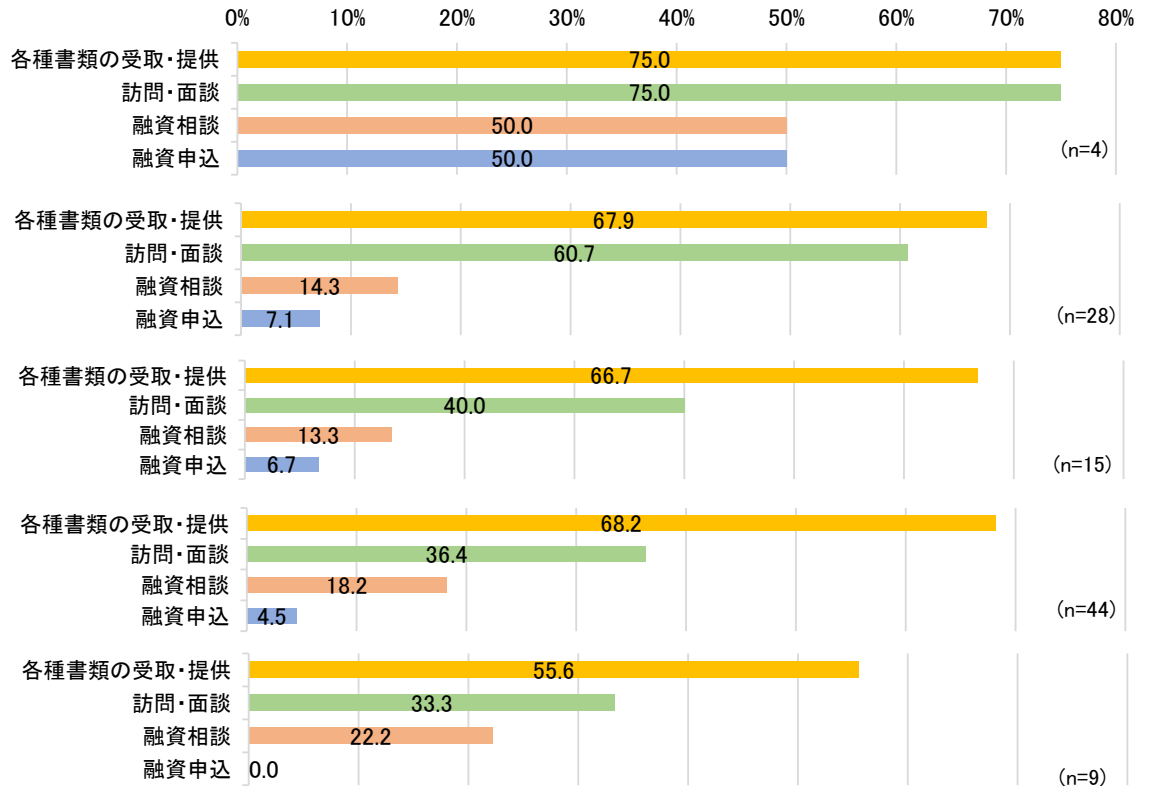
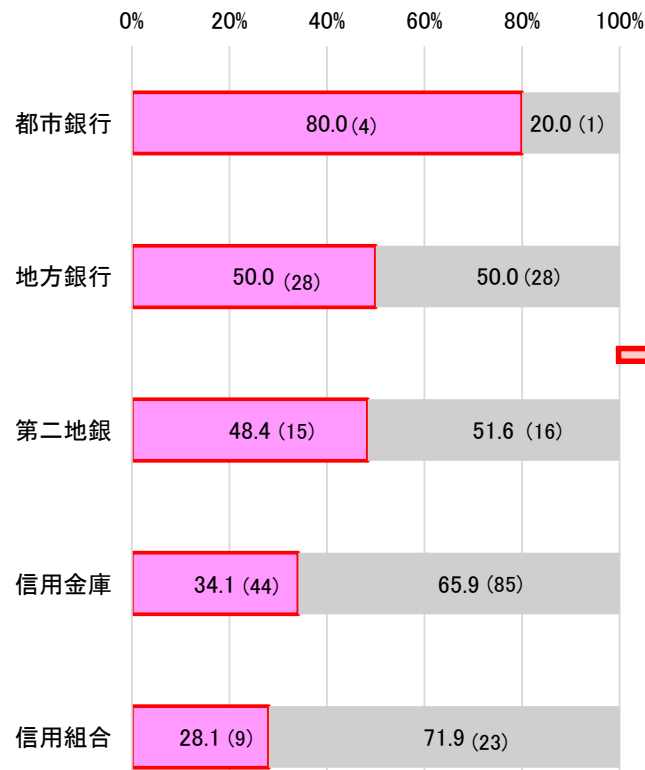


(2) オンライン化を実施しているサービス(実施金融機関)



(金融機関業態別)

(金融機関業態別)

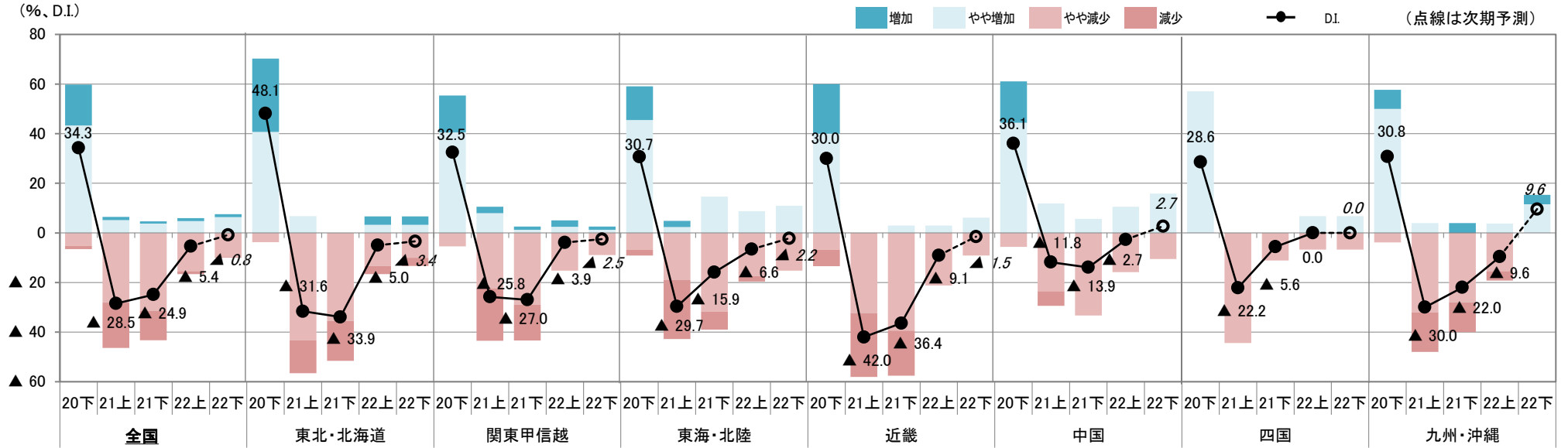


(注1) (1)は、訪問・面談等顧客支援に関するサービスにおいて何らかの形式でオンライン化を実施している割合。

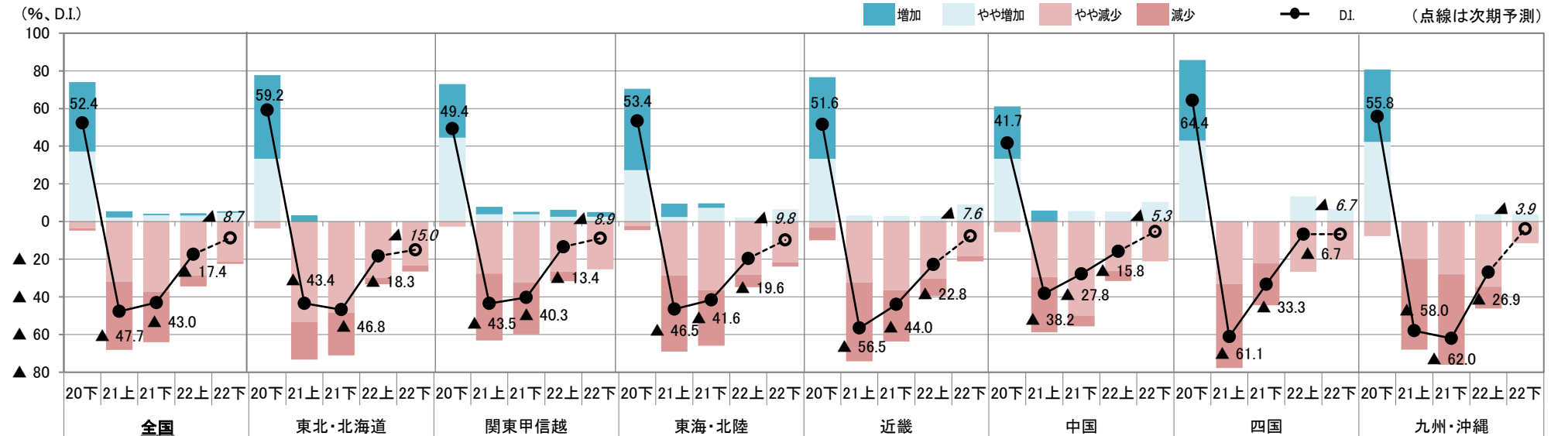
(注2) (2)はオンライン化を実施している金融機関のうち、当該サービスでオンライン化を実施している割合。
 (注3) (2)は複数回答のため、合計は100%を超える。

参考編

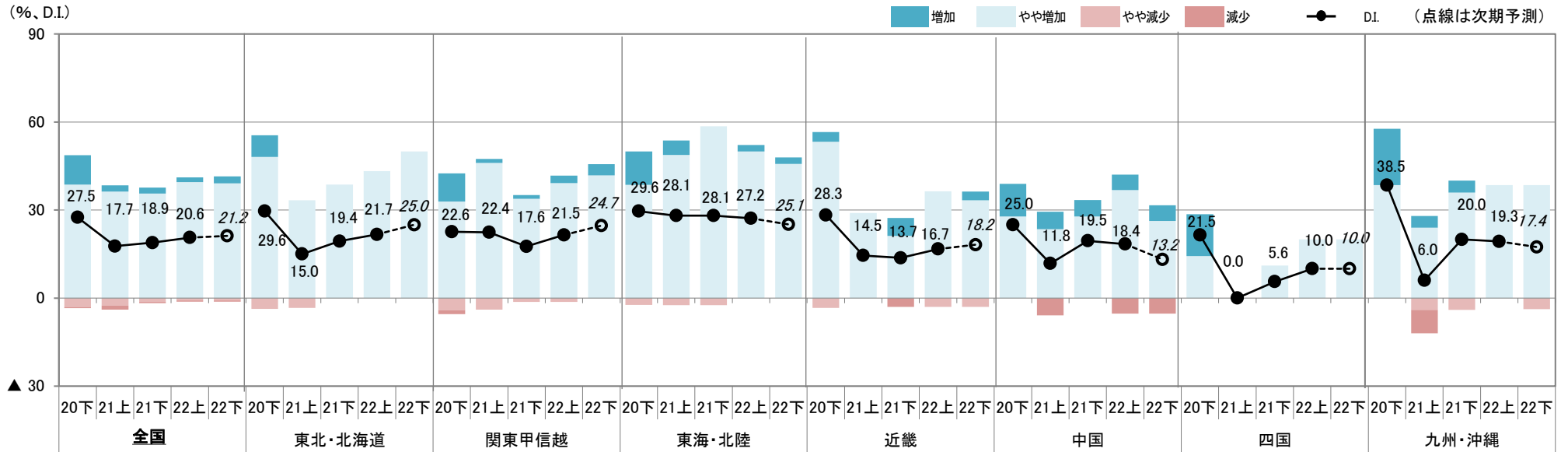
1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



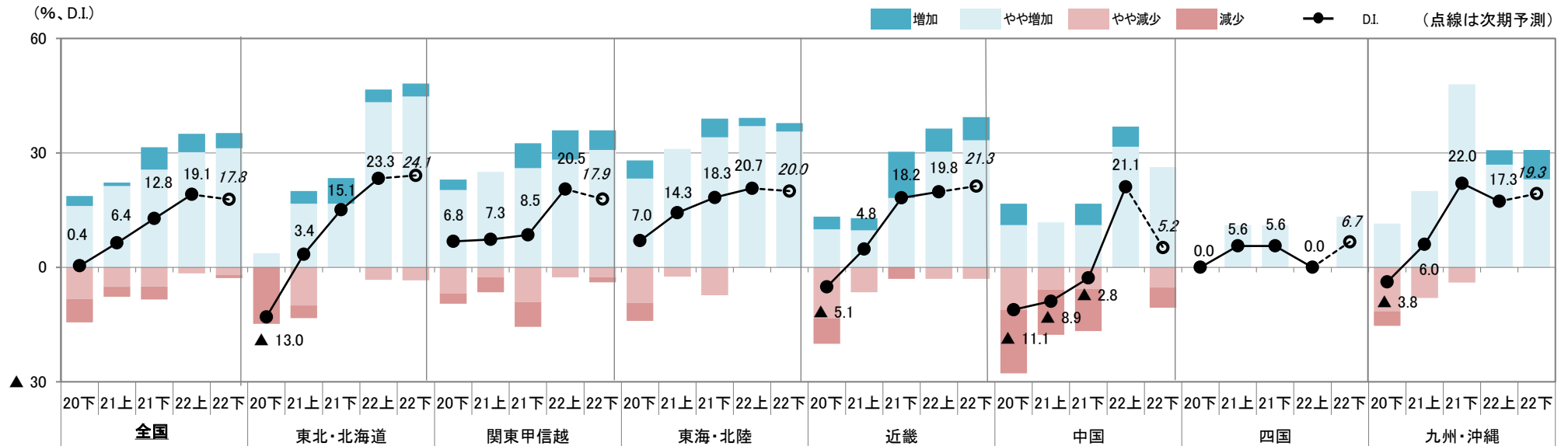
2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】

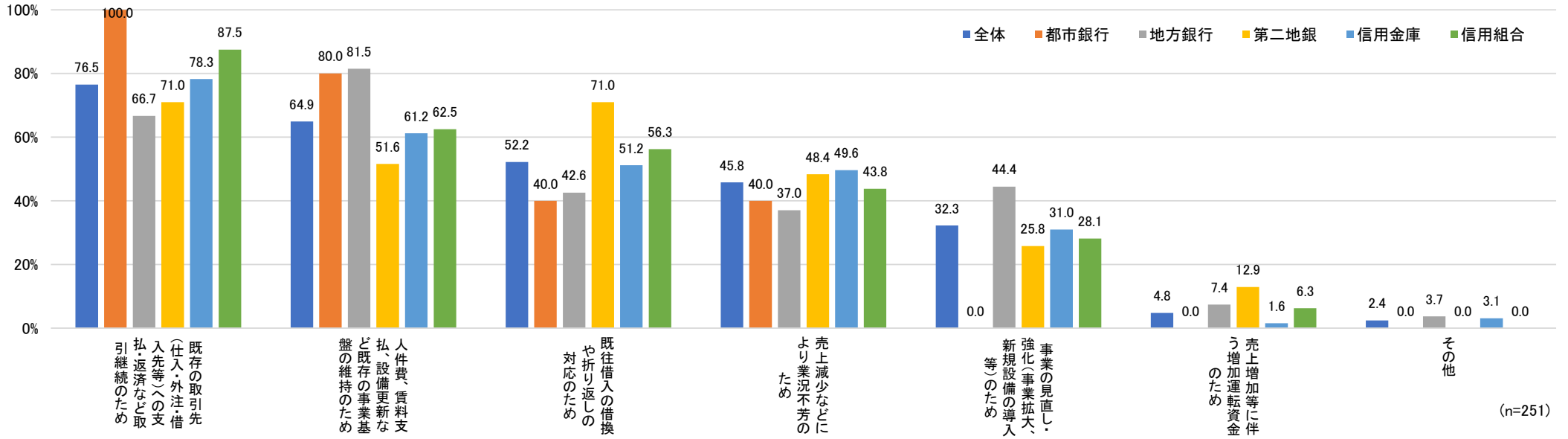


4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】

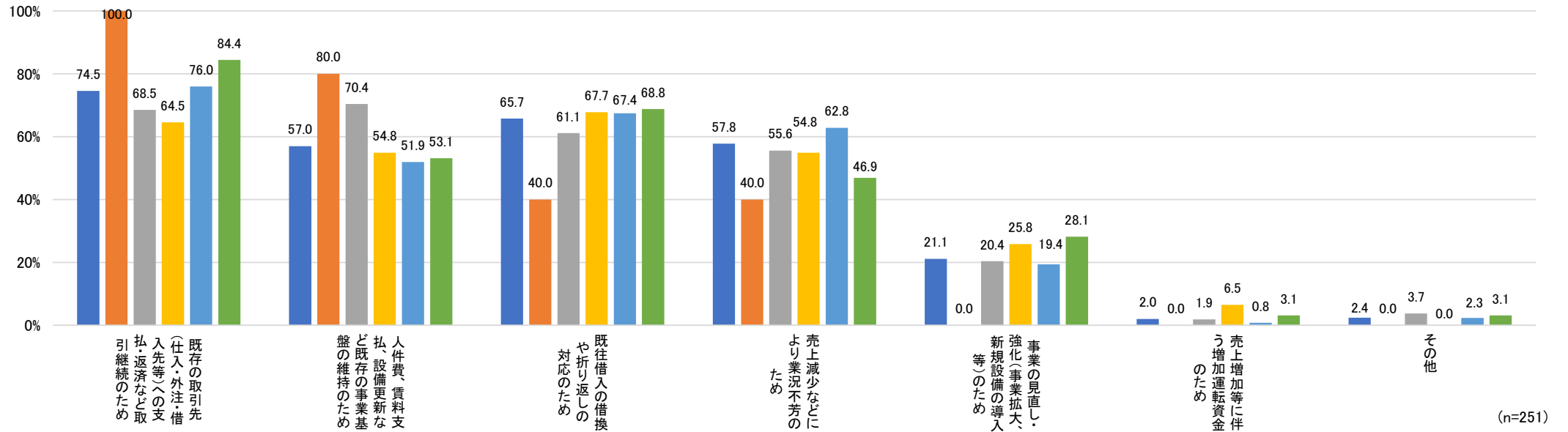


1. 現在の資金ニーズの性質について【金融機関業態別】

(1) 中小企業向け融資全体

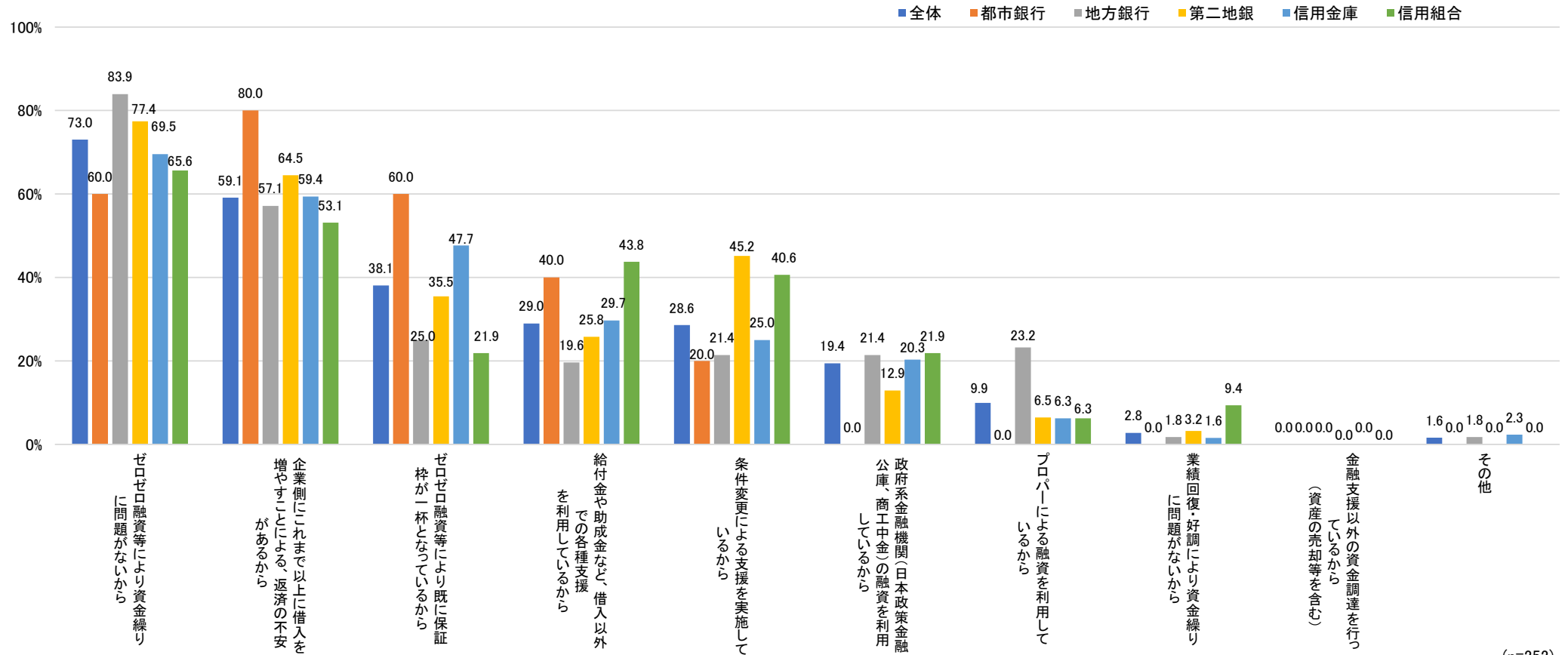


(2) 信用保証付き融資



(1)、(2)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

2. ゼロゼロ融資終了後の信用保証付き融資(申込)の減少要因【金融機関業態別】

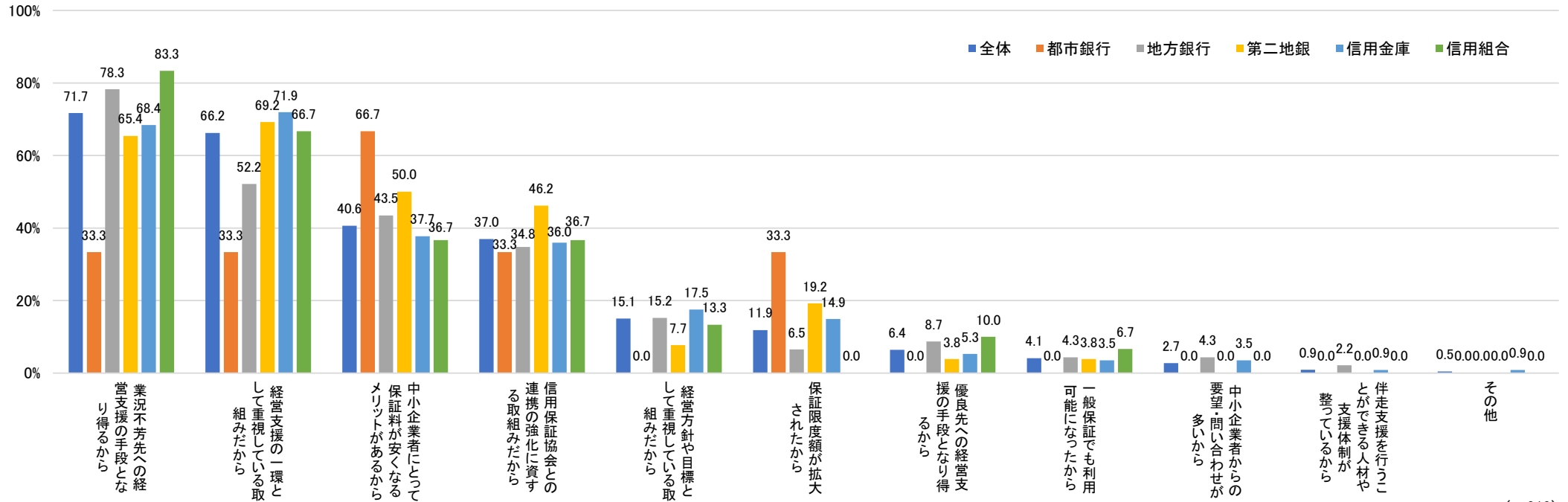


(n=252)

(注) 複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

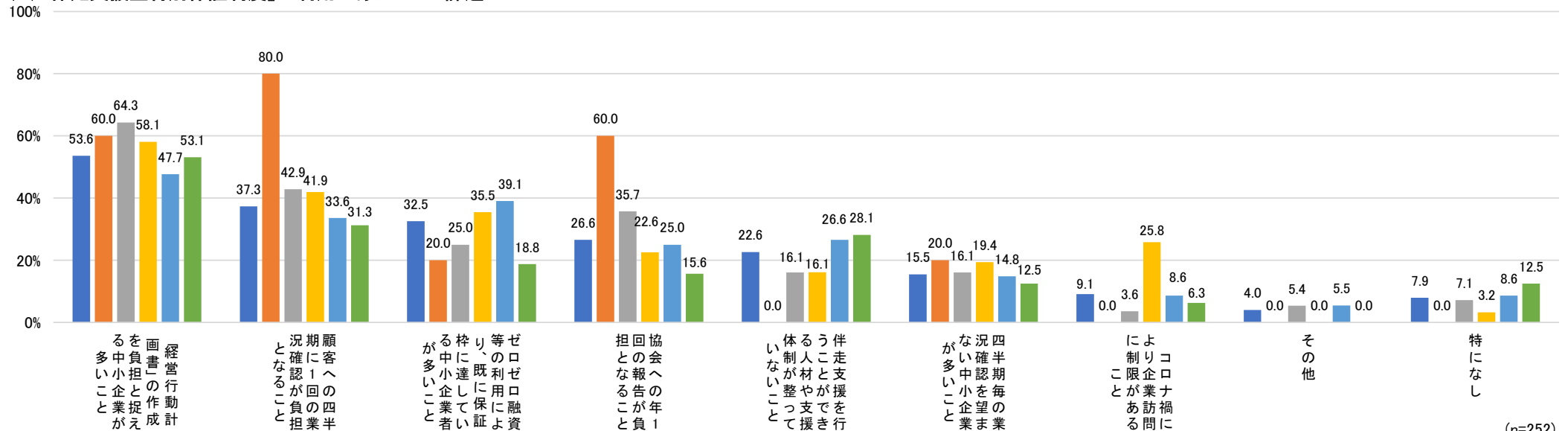
3. 「伴走支援型特別保証制度」の利用状況等【金融機関業態別】

(1) 「伴走支援型特別保証制度」の利用を推進している理由



(n=219)

(2) 「伴走支援型特別保証制度」の利用にあたっての課題



(n=252)

(注) (1)、(2)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。